

平成14年度小学校 Joyful 英語学習実践事例

小学校名	美濃地区小学校	対象学年	5年	実施時期	10月
題材名	得意なことを伝え合おう				
主な表現 補助資料	Can you do this? Yes, I can. / No, I can't. えいごリアンのビデオ、スポーツや楽器の絵カード				
本時の 目標	英語を使ってできることや得意なことを伝え合うことを通して、互いのよい面を認め合うことができる。				
学 習 活 動	教師の指導・援助	留 意 点			
<p>1 Greeting A: Hello, ~. How are you? B: I'm fine (good, nice, so so, ...)</p> <p>2 Song Time “The Days of the Week” を歌う。 【課題】教えて、あなたの得意わざ</p> <p>3 Video Time ・えいごリアンのビデオ(「教えて、きみの得意わざ」の一部)を見る。</p> <p>4 Exercise Time ・スポーツや楽器等の英語での言い方を練習する。 ・“can/can't”を用いて、できることやできないことを表現する。 I can play (play the) ~. I can't play (play the) ~.</p> <p>Communicataion Time ・学級の仲間のできることや得意なことについての情報を収集する。 A: Hello! Can you do this? (実際にやって見せる) Can you play ~? B: Yes, I can. / No, I can't.</p> <p>Game Time ・で集めた情報を使い“Can you guess? Game”をする。 T: ?さん can play ~. (ヒントを出す) Can you guess? P: [Name]</p> <p>7 Check Time ・ から感じたことを書きまとめる。 ・教師の評価を聞く。</p> <p>8 Greeting See you next time.</p>	<p>J・A: 一人一人の答えや表情を確認し、声の大きさや豊かな表情について認める。</p> <p>A: 必要に応じて、ビデオの対話の内容を復唱し、児童に発音練習を促し、定着を図る。 J: 児童の様子を確認し、必要に応じて繰り返しビデオを見せる。 A: 正確な発音を示す。 J: 一人一人の表現を確認し必要に応じて練習を繰り返す。</p> <p>J・A: TT 形式で対話を提示し、ゲーム内容の理解を図る。 J: 対話で大切にすることを確認する。 ・相手に自分の得意なことを、言葉や身振りで確実に伝える。 ・相手の話を正確に聞き取り、相手の得意なことを理解する。</p> <p>J・A: 児童一人一人と対話しながら、上記の姿を誉める。また、相手の得意なことに驚くなど、反応する姿も認める。 J: 自分のことを確実に伝えることと、相手のことを理解することの大切さを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の状態に応じた答えを確認し、表現や表情を誉めていく。 ・歌の内容に関連する絵カードを提示することで、歌の内容についての理解につなげる。 ・ビデオを利用し、本時の対話の内容についての見通しをもたせる。 <スポーツ・楽器> ・スポーツと楽器の表現を絵カードで提示する。 ・I can play [スポーツ]. I can play the [楽器]. という違いを確認する。 ・全員で表現練習をしながら、一人一人が自信をもって表現できるかを確認する。 ・できるだけ多くの仲間の情報を集めるため、児童一人一人に机列表や学級名簿を準備し、対話から得た情報をメモさせる。 ・で情報収集した結果を用いてのゲームをすることで、活動の意味付けをする。 ・の活動では、対話した人数の多さを評価の中心としない。対話で収集した仲間についての情報をのゲームで使うことで、コミュニケーションすることや、お互いに理解し合うことの大切さを価値付ける。 ・「さんは、~ができると知って驚いた」「自分と同じことができる人が~いることが分かった」という、コミュニケーション活動の価値に関わる内容の感想を紹介する。 			